

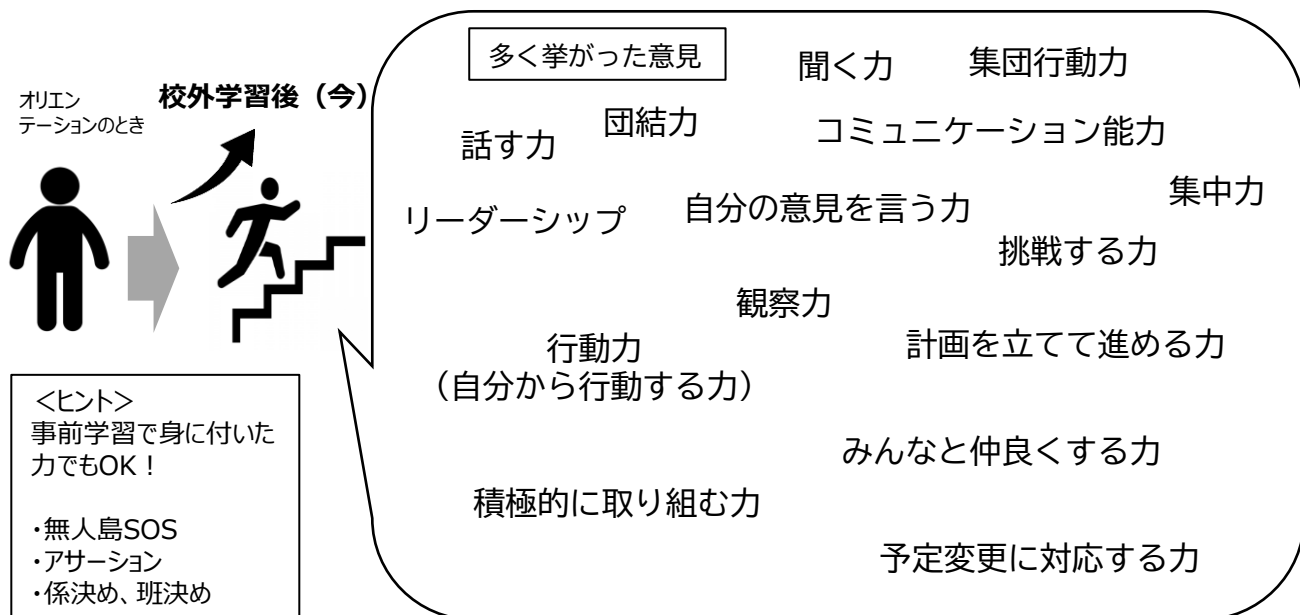
校外学習×キャリア

少し間が空いてしまいましたが、6月21日（火）は、みなさん校外学習お疲れ様でした！
たくさん歩いて、へとへとになった人もいると思いますが、きっと、班員やクラスメイトとの絆は深まったのではないかと思います。

校外学習から帰ってきて、5限の時間には、振り返りをそれぞれ行いましたね。みなさんは、この校外学習を通して、たくさんに力が身に付いたはずですよ！

ここで、いくつか紹介をしたいと思います。

校外学習（事前学習含む）を通して、身に付いた力



「身に付いた力」を振り返ることが大事なのはなぜ？

皆さんだったら、何と答えますか？？キャリアの専門家であるCN渡邊なりの答えは、**「学力だけでは測れないような、自立・仕事・自分らしい生活をしていくために必要だから」**だと思っています。

中学校・高校・大学などのように、学校に通っているうちは「学力」を中心に個々の力を評価される場面も多いです。しかし、社会に出ると、「コミュニケーション力」や「他者と協働する力」など、学力試験などでは測れないような力が求められる場面がとて増えます。

なんとなく、指示されたから考える、ではなく、皆さん自身が、「自分に身に付いている力」を知ることが、自身の人生を充実させるうえでもとても大切である、と知ったうえで今後も考えていってほしいなと思います♪



産業界からは、こんな力が求められている！

校外学習の振り返りの中で、「身に付いた力」を考えましたが、「社会で活躍するために必要な力」とは、何でしょうか？ここからは、経済産業省が提唱している、「人生100年時代の社会人基礎力」についてお伝えしていきます。自分に身に付いている力と照らし合わせて見てみてください♪

人生100年
時代の
社会人
基礎力



社会人基礎力とは？

「これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力」のことを指します。（経産省提唱）



なぜ社会人基礎力が必要になった？

最初に策定された2006年頃は、若者が学校卒業後にスムーズに職場に定着できないことが社会問題化（いわゆるニートなど「学校→職場への移行」の問題）



従来、十分に意識されていなかった「職場等で求められる能力」をより明確にし、意識的な育成や評価が行われるよう、産業界を代表して経産省より提唱されました。

人生100年時代の社会人基礎力：3つの能力と12の能力要素

前に踏み出す力



一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力。

主体性

働きかけ力

実行力

考え抜く力



疑問を持ち、考え抜く力。

課題発見力

計画力

創造力

チームで働く力



多様な人々とともに、目標に向けて協力する力。

発信力

傾聴力

柔軟性

規律性

状況把握力

ストレスコントロール力

人生100年時代の社会人基礎力 新たな3つの視点

①何を学ぶか（学び）



学び続けることを学ぶ

②どのように学ぶか（統合）



多様な体験、経験、能力、キャリアを組み合わせ、統合する

③どう活躍するか（目的）



自己実現や社会貢献に向けて行動する

中学生の間は、主に、「基礎的・汎用的能力（CN通信vol.1参照）」を身に付けることに重点を置いてほしいですが、この「社会人基礎力」は、今後、就職をする際（学校から職場へ移行）に採用選考の中で、見られることも多くあります。中学生の間でも十分伸ばすことができる力なので、ぜひ知っておいてください♪